



2015年9月3日 第2204回例会
9月第1例会

RIテーマ Be a gift to the world
「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ
「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

「基本的教育と識字率向上月間」「ロータリーの友月間」

◆ 会長時間 ◆

金本会長



皆さんこんにちは。先週のガバナー公式訪問では色々とお協力ありがとうございました。お陰さまで無事終えることができホッとしているところです。諏訪パストガバナー、

中村ガバナー補佐、斉藤ガバナー補佐幹事、当日は何かとフォローして頂きありがとうございました。

東ガバナーからは、公式訪問の翌日早々にお礼状が届きました。「皆様の行き届いたお心遣いにより、大変充実した公式訪問となりましたことを心より感謝申し上げます」、「フォーラムにおいても、貴クラブの特色ある奉仕活動やこれからのロータリーに対する取り組みなど有意義な討議が行われ、地区としても得るものが多く大変感銘を受けた次第です」とのことでした。

さて今月は、「基本的教育と識字率向上月間」となっています（併せて日本独自の強調月間として、「ロータリーの友月間」でもあります）。ここで基本的教育とは、中学校卒業までの基本的学習のため、公式または非公式な場で行われる教育活動を言い、識字とは、口頭と非言語のコミュニケーションを理解し、文字・数字を適切に使用する能力を言います。

世界には子供たちが基本的な教育が受けられず、

成人になっても十分に読み書きができない国や地域があります。世界183カ国の中で識字率90%以上の国は104カ国ある一方で、70%に満たない国が33カ国、50%に満たない国が12カ国もあるそうです。さらに、①世界で5,800万人の子供が学校に通っていない、②4年間の初等教育を受けた後も読み書きのできない子供が2億5,000万人いる、③世界の成人人口の15%にあたる7億8,100万人の成人が読み書きできない（その3分の2が女性）、といった現実がいまでも存在しているのです。このことは、仕事を得るための履歴書が書けない、子供の通信簿が読めない、処方薬の説明書が読めないなど生活のための初歩的対応能力に欠けることであり、貧困、子供の死亡率が高い、妊婦の死亡率が高いといった結果を招いています。世界のロータリークラブは、ロータリーの6つの重点分野の一つとして基本的教育と識字率向上を目指す様々な活動に取り組んでいるところです。

因みに日本においては識字率は99.8%であり、残りの0.2%は知的障害者、言語障害者と言われていますが、これらの人々は、補助器具による識字が可能ため実質的には100%と言えるそうです。

● 会務報告 ● 梶本幹事

※他クラブ例会臨時変更

9月 7日(月) 広島東南RC 夜間例会

9月 8日(火) 広島安芸RC 休会

9月16日(水) 広島陵北RC 9月12日創立25周年記念式典
 9月18日(金) 広島城南RC 休会
 9月24日(木) 広島北RC 休会
 広島安佐RC 9月28日職場訪問
 9月25日(金) 広島城南RC 夜間例会
 9月30日(水) 広島陵北RC 夜間例会

※八幡川リバーマラソン大会委員会よりお礼状が届いております。

※例会終了後、4階「アマリス」において9月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

●委員会報告

※プログラム・出席委員会

出席報告 浜田委員

本日(9月3日・木曜日)

会員数	81名	出席者	67名
欠席者	14名	ご来客	2名
ご来賓	1名	ゲスト	1名
		計	71名

前々回(8月20日・木曜日)

出席率 100%



※青少年・インターアクト委員会

青少年交換派遣学生 楠木亜朱利さん帰国挨拶



今回メキシコで一年間の留学に行かせていただいた楠木亜朱利です。広島西ロータリークラブの皆様のおかげで留学という素晴らしい体験をさせていただいて、本当にありがとうございました。ベラクルス州というところに行きましたが、南の方にある海が綺麗でメソアメリカでもユニークな古代ピラミッドがいくつもあるところです。

最初はこの留学に対して、軽い気持ちで楽しそうだなと思いました。しかし東京からメキシコシティへの飛行機で一年間も違う国で一人で過ごすという重大さに気づき、もうその時点で帰りたいと思いながら、泣きました。ベラクルスに着いてから2カ月でホームシックになりました。しかし段々と言葉もわかるようになり、周りの人達のサポートで充実した留学生活を送れるようになりました。

留学したことで色々な辛いことや楽しいことを体験でき人として成長したし、世界観が広くなりました。そしてまた違う文化がわかり、スペイン語という言葉も少し身につきました。これらのことを活かせるように頑張りたいと思っています。そしてまた最後に広島西ロータリークラブに大変お世話になったことを感謝しています。

※会報雑誌・広報委員会 鈴木副委員長

通常、「ロータリーの友」は、第2例会時に配付していますが、9月は、第3例会で会報雑誌・広報委員会の強調プログラムを行う関係上、第2例会ではなく第3例会時に配付します。また、第2例会時の「ロータリーの友」誌の紹介も行いませんので、ご了解ください。

委員会や同好会の写真を会報に掲載したいと思いますので、委員会や同好会などで撮った写真があれば、会報雑誌・広報委員会までお寄せください。

※ロータリー情報委員会 諏訪(昭浩)副委員長

先週のロータリー情報(会報No.2227の2ページ目に掲載)で、Ideal of Serviceの邦訳を「奉仕の理念」とすべきところを「奉仕の理想」と誤って申し上げました。2013年にObject of Rotaryの邦訳が「ロータリーの綱領」から「ロータリーの目的」に変更された時にIdeal of Serviceの邦訳も変更されております。元々の訳は70年以上使用されており、今なお「ファン」が多いのですが、実は私もその一人で、つい旧訳を使用してしまいました。お詫びの上訂正いたします。

● 会員記念日

祝 9月お誕生日おめでとうございます。

(1名)

香川(基)君



● スマイルボックス SAA 荒谷委員

● 諏訪昭登君、諏訪昭浩君（自主申告）

有限会社諏訪では役員改選を行い、8月1日より諏訪昭登は代表取締役から取締役会長に

諏訪昭浩は専務取締役から代表取締役社長にそれぞれ就任致しました。

誠心誠意を社訓として今後も社業に励みますので、よろしくお願ひします。

● 荒谷壽一君（自主申告）

先般、国土交通省中国整備局の業務表彰に於いて局長・事務所長表彰合わせて4件受賞致しました。

今後ともますます技術で武装し地域に密着した建設コンサルタントを目指して国土強靱化に努力してまいりたいと思います。

■ 卓 話

広島県教育の現状 及び今後の取り組み

広島県教育委員会事務局 教育部
高校教育指導課長 吉村 薫氏



この度は、貴重なお時間をいただき誠に有難うございます。

本県では、平成10年に当時の文部省から是正指導を受けて以来、法令、規則に則った適正な教育の推進を基本とし、これまで「新たな『教育県ひろしま』の創造」に向けた取り組みを積極的に進

め一定の成果を上げてまいりました。

高校教育指導課が所管する業務としては、県立高等学校における学力向上対策をはじめ、教育課程の編成や教育内容、指導・評価等「授業づくり」に関すること、キャリア教育、高校入試、奨学金等があります。

今回は、主に県立高等学校について、これまでの学力向上等に係る取り組みの成果と課題、そして今後、さらに教育の充実を図り、「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の創造」の実現に向けた取り組みについてお話をさせていただきます。

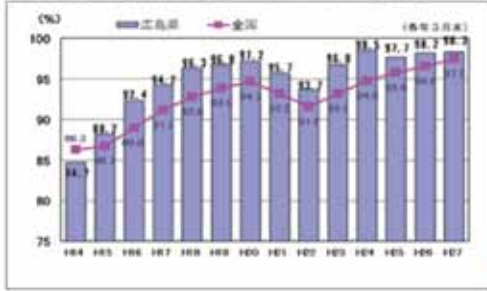


平成12年度からスタートした学力向上対策事業では、基礎・基本の定着を図る公立高等学校等を対象とした「広島県高等学校共通学力テスト」の導入や、授業改善に係る教員研修や授業研究、教材の作成、合同学習合宿や県内外の大学企業訪問など、生徒一人一人の進路実現を目指した取り組みを進めてまいりました。その結果、例えば、国公立大学への現役合格者数と、大学入試センター試験の全国平均点以上の得点者数は、生徒減の中にあっても、平成27年の国公立大学現役合格者数は平成13年の約1.5倍に、また、センター試験の全国平均点以上の得点者数は、平成13年の約1.7倍になっております。

就職については、平成14年度から高等学校就職支援専門教員を配置するとともに、年5回の就職促進会議等を開催する等、生徒へのきめ細やかな就職・面接指導を行うことで、平成27年3月に卒業した生徒の就職率は、景気回復の兆しと相重なって98.3%となり、直近の10年間で2番目に高い状況となっております。

2 現状(成果と課題)

高校生の就職率(国立・公立・私立含む)



一方、これから先、少子高齢化やグローバル化の進展等により、社会構造や雇用環境の大きな変化が予測される中、未来を切り開いていくためには、生徒自身が自ら深く考え、知識や情報を活用し協働して新たな価値観を生み出すことのできる「主体的な学び」が重要になると考えております。

そこで、県教育委員会は昨年12月、グローバル化する21世紀の社会を生き抜くための新しい教育



モデルの構築を目指して、「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を策定し、本年度を「学びの変革」元年として、「課題発見・解決学習」や「異文化間協働活動」を小学校段階から系統的に推進する取り組みを開始しました。特に高等学校では、これまでのような教師が教えることを単に生徒が享受するだけでなく、生徒自らが自分の考えを述べ、お互いの価値観を尊重しながら議論を

深めるなど、生徒が学びに対し積極的に関与し深い理解をもとに課題を解決していくことをねらいとしています。

国の動向としては、中央教育審議会（中教審）の特別部会で次期学習指導要領や高大接続システム改革などについて活発な議論がなされ論点整理がされている途中であり、本県の取り組みは、いわば、国に先駆けたものであると認識しています。

全ての児童生徒が潜在的に持っている資質・能力を最大限引き出しそれらを鍛える教育環境づくりを行うために、教育委員会といたしましては、各学校が特色を生かして推進する取り組みをしっかり支援し、本県全体の「学びの変革」の早期実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

プロフィール

吉 村 薫

広島県教育委員会事務局 教育部 高校教育指導課長

大学卒業後、県立高等学校教諭として外国語を担当。広島県総務部国際交流課へ出向、広島県立広島中学校・高等学校指導教諭、県教育委員会高校教育指導課指導主事、課長補佐などを歴任し、平成26年度より現職。

● 卓話予告

日時	テ ー マ
9/17(木)	会報雑誌・広報委員会 強調プログラム

<p>例会日・木曜日 12:30~13:30 例会場・ANAクラウンプラザホテル広島 会 長 金本 善行 幹 事 梶本 政明</p>	<p style="text-align: right;">広島西RC 検索 </p> <p>事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870 E-mail : hwrc@godorc.gr.jp 作 成・会報雑誌・広報委員会</p>
---	--